

【日本の大学】第46回——関西学院大学：キリスト教主義の全人教育

関西学院大学は、1889年にアメリカ人宣教師(南メソヂスト監督教会)のウォルター・ラッセル・ランバスが創設した関西学院(くわんせいがくいん)が始まりである。キリスト教主義に基づく「学びと探究の共同体」を目指す教育を行う学園として130年を超える歴史を刻んでいる。

1932年には「大学令」により関西学院大学となり、第2次大戦後の1948年に新学制によって新たに大学、高等部などを開設し拡大・発展を続けてきた。

以下、同大学のホームページなどから大学の歴史や現状などを概観していこう。



真ん中の建物は西宮上ヶ原キャンパスの時計台、2009年6月に「登録有形文化財」に登録された。

宣教師ランバスが創設

18 世紀に英国で始まったキリスト教のメソヂスト教会は、19 世紀にはアジアへの伝道を展開。中国で伝道に当たっていたのが、創立者ランバスの両親であった。ランバスは、1854 年に両親の赴任先だった上海で生まれ、祖国米国で医学と神学を修めた。中国に戻って医療活動に携わりながら宣教師として活躍し、弱冠 32 歳で日本への伝道の責任者として任命された。1886 年に家族とともに来日し、神戸外国人居留地に居を構え、西日本を中心に伝道を開始した。



W. R. ランバス (1854~1921) Walter Russell Lambuth

1889 年に、牧師養成と青年への全人教育を目的とした男子校の創立を計画、原田の森(現神戸市灘区)に木造校舎を建造して関西学院を開設した。教師 5 人、生徒は 19 人の小さな学校で、神学部と普通学部の 2 学部でのスタートだった。

ランバスの日本滞在期間はわずか 4 年だったが、その間、多くの教会や学校の創立に関わった。離日後も、活発な行動力によって南米、アフリカ、欧州、シベリア、中国、朝鮮半島など世界を駆け巡り、伝道活動を続けた。

関西学院の教育理念は、「キリスト教に基づく青年教育」であると、関西学院憲法に明記されている。キリスト教主義教育の理念を具体的に示すものとして、「Mastery for Service」というスクール・モットーを持つ。これは第 4 代の院長であった C. J. L. ベーツが学生に語った言葉であり、自己修養(練達)と献身(奉仕)を合わせ持つ生き方が人間の真の生き方であることを示したものだ。学ぶ場で身につけたものを、自己の名誉や欲望のために用いるのではなく、他者のため世界のために献げることを勧めている。中学部、高等部、大学ともチャペル・アワーが設けられ、学院のすべての公式行事は祈りをもって始められている。



C. J. L. ベーツ (1877-1963) Cornelius John Lighthall Bates(高等学部長時代)

校名は、当時、英和学校と名付けられるミッション・スクールが多い中で、慣習を破って「学院」とし、西のリーダーとなるべく「関西」を冠した。また当時の進取の気風に合わせた漢音読みで「くわんせいがくいん」と呼ぶことになったという。

1932年に大学として設立が認可されたが、その時のベーツ4代院長が、初代の学長となった。第2次大戦後の1946年には大学の機構を改め、文学部、法学部、経済学部の3学部体制となり、48年には、新学制によって大学と高等部が開設された。

その後、1951年に商学部を創設し、52年には文学部の神学科を独立させて神学部を開設、60年には社会学部、61年には理学部を開設している。



西宮上ヶ原キャンパス全景

14 学部・研究科の総合大学に

その後しばらくは、新たな学部の創設がなかったが、日本経済の動向や世界の技術革新などが進む中で、学部の再編や新設が行われた。1995年には、総合政策学部を神戸三田キャンパスに開設したほか、2002年には理学部を理工学部に変更し、学部内に生命科学科、情報科学科を開設した。その後、人間福祉学部の開設(2008年)、国際学部の開設(2010年)が続いた。最新の再編としては、2021年4月から理工学部を理学部、工学部、生命環境学部、建築学部の4学部に変更するとともに、総合政策学部を大幅にリニューアルした。

この結果、現在は14の学部、14の大学院研究科を保有する総合大学となっている。

神学部は、関西学院が創立以来の教育理念である「キリスト教に基づく青年教育」を体現する学部である。創立当初から培われてきた国際性と社会貢献への使命感を身につけた世界市民の育成を目指す。



ランバス記念礼拝堂

文学部は六つの専修で、それぞれの専門性を深く追求する。専修は哲学倫理学、美学芸術学、地理学地域文化学、日本史学、アジア史学、西洋史学に分かれているが、専修の枠組みを超えてすべての領域にわたって学べる自由度の高い履修システムを採用している。

社会学部は、人と人の関係、家族・学校・企業や地域・国家といった集団と人の関係、それらの集団と集団間の関係の中から生じるさまざまな事象に学際的にアプローチし、より理想的な社会の在り方を模索していく。学科制を取らず、2年秋学期から履修する「研究演習(ゼミ)」で、テーマによって「現代社会学専攻分野」「データ社会学専攻分野」など6専攻分野のいずれかの卒業要件を満たすように学んでいく。

経済学部は、1934年に旧制大学の商経学部の流れをくむ。キリスト教主義に基づく人格の陶冶と経済学の専門知識や経済の背景にあるさまざまな文化やコミュニケーション能力を身につけることを通じて、自分自身を磨く人間を育てることを目標とする。

総合政策学部は、「地球規模で考え、足元から行動を起こせ」をモットーに、現代社会に求められる教育研究の充実を図る。法学、政治学、経営学、社会学、社会福祉学、工学、理学、言語文化を組み合わせた従来の学問の枠にとらわれない学部である。実践

力を身につけるためにフィールドワークを導入し、国際舞台で活躍するために欠かせない高い英語運用能力を身につけるため学部独自の英語教育を行っている。総合政策学科、都市政策学科、メディア情報学科、国際政策学科の4学科で総合力と専門力を養う。1年次は学科に所属せずに多様な分野を幅広く学修する。2年次からは学科に所属して、専門・演習科目などを履修し、3年次からゼミに所属する。

人間福祉学部は、伝統である「関学社会福祉」の教育研究を継承、発展させつつ、スポーツ科学、健康科学教育研究及び社会経済研究などの研究を活かしながら有機的な連携を一層強めることによりさまざまな社会的な要請に応えることを目的にしている。社会福祉学科、社会起業学科、人間科学科からなり、それぞれの学科の特色に合わせた専門教育を提供している。



大学内に日本庭園(西宮上ヶ原キャンパス)

理系学部を4学部再編

2021年春に新たに4学部に分かれた理系学部のうち建築学部を除いた3学部は、「自然科学の基本原則とその応用について教育・研究を行い、自然科学・科学技術と建学の精神であるキリスト教主義に基盤をおいて再生・共生型社会の構築に貢献する」との理念を掲げた。

理学部は、旧理学部から20年ぶりに名称が復活した。数理科学科、物理・宇宙学科、

化学科の3学科があるが、このうち化学科は旧理学部からの伝統と実績を誇る。数理科学科は基礎数学から応用数理までの多様性・学際性が特徴。物理・宇宙学科は、宇宙物理の主要3分野である電波天文学、赤外線天文学、X線天文学をそろえて宇宙の謎に迫る。

工学部は、物質化学、電気電子工学、情報科学、人間・機械系の各専攻分野の基礎に根ざした深い知識と、複雑化・多様化する社会における課題解決に当たる能力を備えた学生を養成する。



理工学部と総合政策学部がある神戸三田キャンパス

生命環境学部は、環境、食糧、健康問題の解決を目指す「生命」をキーワードとする新しい学部である。生物科学科、生命医科学科、環境応用化学科の3学科からなり、理学、工学、生命医科学の3種類の学位を取得することが可能である。

建築学部は、「グローバルな視野で建築と都市の未来を創造し、持続可能で秩序ある生命空間の実現に貢献する」との理念を掲げる。学科には「デザイン+マネジメント」、「工学+人文社会科学」「グローバル+フィールド」のそれぞれの分野に軸足を置いて建

築と都市について学んでいく。



2021年4月に神戸三田キャンパスに新設された建築学部

大学の主要なキャンパスは関西圏（兵庫県）にある3カ所である。本部のある西宮上ヶ原キャンパスは神学部・同研究科、文学部・同研究科、社会学部・同研究科、法学部・同研究科、経済学部・同研究科、商学部・同研究科、人間福祉学部・同研究科、国際学部・同研究科のほか言語コミュニケーション研究科、経営戦略研究科がある。西宮聖和キャンパスには、教育学部・同研究科と系列の聖和短期大学があり、神戸三田キャンパス（兵庫県三田市）には、総合政策学部・同研究科、理学部、工学部、生命環境学部、建築学部がある。

世界の大学・国際機関と相互交流する協定校ネットワークを備えており、留学希望者向けの奨学金制度など支援策も充実している。2018年度には海外協定大学への派遣者数は国内第1位の1833名となった。2019、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響があつて減少したが、代わりに「オンライン国際教育プログラム」を展開している。協定校は54か国・地域の280超の大学・国際機関に上る。



西宮聖和キャンパス

海外からの留学生に関しては、「キャンパス自体が国際交流の場」と位置づけ、融合プログラム、国際交流制度、交流イベント、オンライン交流などを進めている。国際教育寮に続いて、22年3月には新国際教育寮（日本人学生と外国人留学生がともに生活）を開設し、国籍・文化・宗教・習慣・考え方など多様な価値観を学び、相互の理解を深め、成長する場を提供する。

大学の学部の専任教員は教授、準教授、講師、助教を合わせて715名（2021年7月現在）。学生数は大学が23571名（うち女性が11834名、外国人学生数842名）、大学院は博士課程前期が780名（うち女性277名、外国人学生数97名）、同後期課程140名（うち女子58名、外国人学生数32名）、専門職大学院383名（女性135名、外国人学生91名）（いずれも2021年5月現在）である。

学長は村田治氏である。1980年関西学院大学経済学部卒、大学院を経て、89年経済学部助教授、教授、経済学部長、高等教育推進センター長などを務めた後、2014年から関西学院大学学長。現在3期目で、任期は23年3月末。経済学博士で専門科理論経済学である。

日文：滝川 進

写真：関西学院大学 HP & Facebook